

野菜類で登録のある農薬適用表(1)(殺菌・除草)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		BM2	ボトキラー水和剤	発病前～発病初期	—	1,000倍(150～300g) 300g(6～10g)	100g —	灰色かび病、うどんこ病 灰色かび病	水和剤	散布 常温煙霧	パチルス ズブチリス	
		BM2	エコショット	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50g	灰色かび病	顆粒水和剤	散布	パチルス ズブチリス	
		BM2 M1	クリーンカップ	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍(100～300g) 1,000倍(100～300g)	100～50g 100g	うどんこ病 灰色かび病	水和剤	散布	水酸化第二銅、 パチルス ズブチリス	
		M1	コサイド3000	—	—	2,000倍(100～300g)	50g	軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病、	水和剤	散布	水酸化第二銅	
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100～300g)	200g	斑点細菌病、褐斑細菌病、黒腐病、 軟腐病、べと病、黒斑細菌病	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	ドイツボルドーA	—	—	500～1,000倍(100～300g)	200～100g	軟腐病、べと病	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	クプロシールド	—	—	1,000～2,000倍(100～300g) 1,000～1,500倍(100～300g)	100～50ml 100～67ml	べと病、斑点細菌病 軟腐病	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	品目登録がされている場合は、品目毎の適用表に記載。
		M1 NC	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	750～1,000倍(150～500g) 1,000倍(150～500g)	133～100g 100g	うどんこ病(なすを除く) 白さび病、軟腐病(なすを除く)	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	
		NC	カリグリーン	収穫前日まで	—	800～1,000倍(100～300g) 800倍(100～300g)	125～100g 125g	うどんこ病(トマト、ミニトマトを除く) さび病、灰色かび病(トマト、ミニトマトを除く)	水溶剤	散布	炭酸水素カリウム	
		NC	ハーモメイト水溶剤	収穫前日まで	—	800倍(150～300g) 800～1,000倍(150～300g)	125g 125～100g	灰色かび病、さび病 うどんこ病	水溶剤	散布	炭酸水素ナトリウム	
		M2	イオウフロアブル	—	—	500～1,000倍	200～100ml	うどんこ病(すいか、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、ねぎ、 あさつき、わけぎ、いちごを除く)	フロアブル	散布	硫黄	
		—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍(100～300g)	100～50g	軟腐病(だいこん、キャベツ、レタス、非糖球レタス、はくさい、 ブロッコリー、しょうが、かぼちゃ、ズッキーニ、トマト、ミニトマトを除く)	水和剤	散布	シュードモナス ロデシア	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起前まで(雑草生育期)	1回 (農薬総使用回数、合せて1回以内)	200～500ml(通常50～100g、少量5～50g)	一年生雑草(えだまめ、はくさい、キャベツ、アスパラガス、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんにく、ほうれんそう、にんじん、だいこん、トマト、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ(葉)、オリーブ(葉)、たらのぎ、薬用にんじん、いも類、豆類(種実)を除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートカリウム塩	展着剤不要
		タッチダウンiQ	耕起7日以前 (雑草生育期)		250～500ml(25～50g)	一年生雑草(えだまめ、たらのぎ、はくさい、キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、アスパラガス、トマト、きゅうり、なす、オリーブ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、びわ(葉)、薬用にんじん、てんさい、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょ、ばれいしょを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートカリウム塩	展着剤不要
		クサクリーン液剤	耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)		250～500ml (通常50～100g、少量25～50g、5～15g)	一年生雑草(えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、だいこん、とうがらし類、にんじん、ピーマン、ねぎ、たまねぎ、アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、たらのぎ、トマト、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、レタス、薬用にんじん、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートインプロピルアミン塩	展着剤不要
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前	3回以内	600～1000ml(100～150g)	一年生雑草(レタス、キャベツ、はくさい、カリフラワー、ブロッコリー、ねぎ、だいこん、にんじん、ごぼう、たまねぎ、トマト、きゅうり、すいか、メロン、なす、ほうれんそう、ピーマン、かぼちゃ、アスパラガス、パセリ、ふき、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、うど、やまのいも(むかご)、しょうが、にんにく、たけのこ、いちごを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	ジクワット、 パラコート	

野菜類で登録のある農薬適用表 (2) (殺虫・展着)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		7	ラノーテープ	栽培期間中	1回	10～50m ² /10a		コナジラミ類(施設栽培)	テープ	作物体の付近に設置	ピリプロキシフェン	講習を受けた登録会員のみ使用可。1年ごと完全回収
		—	バストリア水和剤	定植前 定植時	—	1～5kg (150～200ℓ) 0.5g/穴(1ℓ)		ネコブセンチュウ	水和剤	土壌表面に散布し混和 灌穴土壌灌注	バスターリア ペネトランス	
		—	エコピタ液剤	収穫前日まで	—	100倍 (100～300ℓ)	1ℓ	アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病、ハダニ類(いちご、トマト、ミニトマト、 きゅうり、なす を除く)	液剤	散布	還元澱粉糖化物	
		—	粘着くん液剤	収穫前日まで	—	100倍 (150～300ℓ)	1ℓ	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病	液剤	散布	ヒドロキシアピル化リン酸架橋デンプン	
		—	オレート液剤	発生初期～収穫前日まで	—	100倍 (100～300ℓ) 100～300倍 (100～300ℓ)	1ℓ 1ℓ～333ml	アブラムシ類 (いちごを除く) コナジラミ類 (いちごを除く)	液剤	散布	オレイン酸ナトリウム	
		—	アカリタッチ乳剤	収穫前日まで	—	1,000～3,000倍 (100～400ℓ) 2,000倍 (100～400ℓ)	100～33ml 50ml	ハダニ類 うどんこ病	乳剤	散布	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル	
		—	ムシラップ	収穫前日まで	—	500倍 (100～300ℓ)	200ml	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病	乳剤	散布	ソルビタン脂肪酸エステル	
		—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300倍 (150～500ℓ) 300～600倍 (150～500ℓ)	333ml 333～167ml	アブラムシ類、コナジラミ類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く) ハダニ類、うどんこ病(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)	乳剤	散布	脂肪酸グリセリド	
		—	フーモン	収穫前日まで	—	1,000倍 (150～500ℓ)	100ml	ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病	乳剤	散布	ポリグリセリン脂肪酸エステル	展着剤として使用可
		11A	トアローフロアブルCT	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 500～1,000倍	100～50ml 200～100ml	アオムシ、コナガ オオタバコガ	フロアブル	散布	BT	
		11A	エコマスターBT	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 (100～300ℓ) 1,000倍 (100～300ℓ)	100～50g 100g	アオムシ、コナガ オオタバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	顆粒水和剤	散布	BT	
		11A	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 (100～300ℓ) 1,000倍 (100～300ℓ)	100～50g 100g	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ(はくさい除く) オオタバコガ、シロイモジヨトウ、ハスモンヨトウ(はくさい除く)	顆粒水和剤	散布	BT	
		11A	ジャックポット顆粒水和剤	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000倍 (100～300ℓ)	100g	コナガ、オオタバコガ、アオムシ、シロイモジヨトウ(はくさいを除く)	顆粒水和剤	散布	BT	
		—	サフオイル乳剤	収穫前日まで	—	300～500倍 (100～500ℓ) 300倍 (100～500ℓ)	333～200ml 333ml	ハダニ類(いちご、トマト、ミニトマトを除く) キノホコリダニ、コナジラミ類、うどんこ病(いちご、トマト、ミニトマトを除く)	乳剤	散布	調合油	
		—	コンフューザーV	作物の栽培全期間	—	100～200本/10a (41g/100本製剤) 100本/10a (41g/100本製剤)	— —	コナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、タマギンクワバ、ヨウガ、イラクサギンクワバ シロイモジヨトウ	—	設置	アルミゲルア・ウワハルア・ダイアモルア・ビートア・ミルア・リトルア	
		—	コナゴンプラス	作物の栽培全期間	—	100～120本/10a (22g/100本製剤)	—	ヨトウガ、コナガ、オオタバコガ	—	設置	アルミゲルア・ダイアモルア	

◆生物農薬(天敵)については、該当品目の講習会等で使用方法の確認を行います。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
展着剤		ハイテンパワー	—	—	1～2ml/散布液10ℓ (5,000～10,000倍)	—	—	添加	ポリオキシアルキレン脂肪酸エステル	
		ニーズ	—	—	5～10ml/散布液10ℓ	—	—	添加	ポリオキシエチレン脂肪酸エステル、ポリオキシアルキレン脂肪酸エステル、ジメチルアミンモウム	
		ササラ	—	—	3.3～5ml/散布液10ℓ (2,000～3,000倍)	—	—	添加	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	
		ワイドコート	—	—	1～3.3ml/散布液10ℓ (3,000～10,000倍)	—	—	添加	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム、ポリオキシエチレンアルキルエーテル	
		スカッシュ	—	—	5～10ml/散布液10ℓ	—	—	添加	ソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレン脂肪酸エステル	
		まくびか ※	—	—	1～3.3ml/散布液10ℓ (3,000～10,000倍)	—	—	添加	ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン	
		ドライバー	—	—	2～10ml/散布液10ℓ (1,000～5,000倍)	—	—	添加	ポリオキシエチレン脂肪酸エステル	

※「まくびか」は強い酸性・アルカリ性の剤(ICボルドー等)と混用すると薬害を生じる恐れがあります。

いも類で登録のある農薬適用表(野菜類登録の農薬も使用できるようになりました)

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	対象病害虫・雑草	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤	—	—	粒状石灰窒素40	播種前又は植付前	1回	50~70kg		畑地一年生雑草	—	耕起前 全面散布	石灰窒素		
				播種前又は植付前		50~100kg		ネコブセンチュウ		土壌混和			
	—	—	石灰窒素50防散	播種前又は植付前	1回	50~100kg		ネコブセンチュウ	—	土壌混和	石灰窒素		
				播種前又は植付前		50~70kg		畑地一年生雑草		耕起前 全面散布			
	—	—	アカリタッチ乳剤	収穫前日まで	—	2,000~3,000倍(100~400ℓ)	50~33ml	ハダニ類	乳剤	散布	プロピレングリコールモノ脂 脂肪酸エステル		
						2,000倍(100~400ℓ)	50ml	うどんこ病					
	11A	—	—	サブリーナフロアブル	発生初期 収穫前日まで	—	500倍(100~300ℓ)	200ml	オオタバコガ	フロアブル	散布	BT	
							500~750倍(100~300ℓ)	200~133ml	ハスモンヨトウ				
							1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ヨトウムシ				
	11A	—	—	チューンアップ顆粒水和剤	発生初期 但し、収穫前日まで	—	2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33g	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラノメイガ	顆粒水和剤	散布	BT	
3,000倍(100~300ℓ)							33g	ウリノメイガ					
2,000倍(100~300ℓ)							50g	ヨトウムシ					

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)	—	ラウンドアップマックスロード ※	耕起前又は植付け前まで (雑草生育期)	1回 (グリホサート成分を含む農薬使用回数1回)	200~500ml (通常散布50~100ℓ、少量散布25~50ℓ)	一年生雑草(かんしよを除く)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	展着剤不要
		タッチダウンIQ ※	耕起7日以前(雑草生育期)、 草丈30cm以下		250~500ml(25~50ℓ)	一年生雑草(ばれいしよ、かんしよを除く)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	展着剤不要
	毒	プリグロックスL	植付前	3回以内	600~1,000ml(100~150ℓ)	一年生雑草(ばれいしよ、かんしよ、やまのいも、さといも、 こんにやく、みずいもを除く)	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、パラコート	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	使用方法	成分名	備考
展着剤	—	ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液10ℓ(5,000~10,000倍)	—	添加	ポリオキシアルキレン脂肪酸エステル	一般展着剤
		ササラ	—	—	3.3~5ml/散布液10ℓ(2,000~3,000倍)	—	添加	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	一般展着剤
		まくびか ※	—	—	1~3.3ml/散布液10ℓ(10,000~3,000倍)	—	添加	ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン	機能性展着剤
		ワイドコート	—	—	1~3.3ml/散布液10ℓ(3,000~10,000倍)	—	添加	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム ポリオキシエチレンアルキルエーテル	機能性展着剤

※「まくびか」は強い酸性・アルカリ性の剤(ICボルドー等)と混用すると薬害を生じる恐れがあります。

雑穀類で登録のある農薬適用表

登録内容は2023年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
その他		FRAC M3	キヘゲンR-2フロアブル	播種前	1回	乾燥種子1kg当り原液20ml	カラス、キジ、キジバト、スズメ、ハト、ムクドリ(とうもろこしについてはとうもろこしの適用を参照)	フロアブル	塗沫処理	チウラム	雑穀類(とうもろこしを除く)

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		11A	サブリーナフロアブル	発生初期但し収穫前日まで	—	1,000倍(100~300g)	100ml	アワノメイガ(ひえについてはひえの適用を参照)	フロアブル	散布	BT	雑穀類(ひえを除く)
		11A	トアロー水和剤CT	発生初期但し、収穫前日まで	—	1,000倍(60~150g)	100ml	アワノメイガ(ひえについてはひえの適用を参照)	水和剤	散布	BT	雑穀類(ひえを除く)
		11A	エコマスターBT	発生初期但し、収穫前日まで	—	2,000倍(100~300g)	100g	アワノメイガ(そばについてはそばの適用を参照)	顆粒水和剤	散布	BT	雑穀類(そばを除く)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
除草剤		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は播種前まで(雑草生育期)	2回以内	200~500ml(通常散布50~100g、少量散布25~50g)	一年生雑草(そば、とうもろこしについては作物ごとの適用を参照)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	雑穀類(そば、とうもろこしを除く)

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
展着剤		ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液10ℓ(5,000~10,000倍)	—	—	添加	ポリオキシアルキレン脂肪酸エステル	雑穀類
		ササラ	—	—	3.3~5ml/散布液10ℓ(2,000~3,000倍)	—	—	添加	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	雑穀類

◎野ねずみ対策

薬剤名: Z・P1. 00

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害獣名	総使用回数	備考
農地、山林	野そが加害する農作物等		—	10アール当り、50~200g	本剤を3~5g紙づつみまたはそのままでソ穴に投入するか、10a当り10~40か所に適宜配置する	野そ	—	

薬剤名: ヤソチオン 劇物

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害獣名	総使用回数	備考
農地	野そが加害する農作物等		—	200~300g/10a	手撒きによる防除 ベイトボックスによる防除	野そ	—	

◎ナメクジ対策

薬剤名: スラゴ

適用場所	作物名	使用時期	本剤の使用回数	使用量	使用方法	適用害虫名	燐酸第二鉄を含む農薬の総使用回数	備考
温室、ハウス、圃場、花壇	ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等	発生時	—	1~5g/m ²	ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイの発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置	ナメクジ類	—	
				3~5g/m ²		カタツムリ類		
				5g/m ²		アフリカマイマイ		
						ヒメリンゴマイマイ		